

統計トピックス

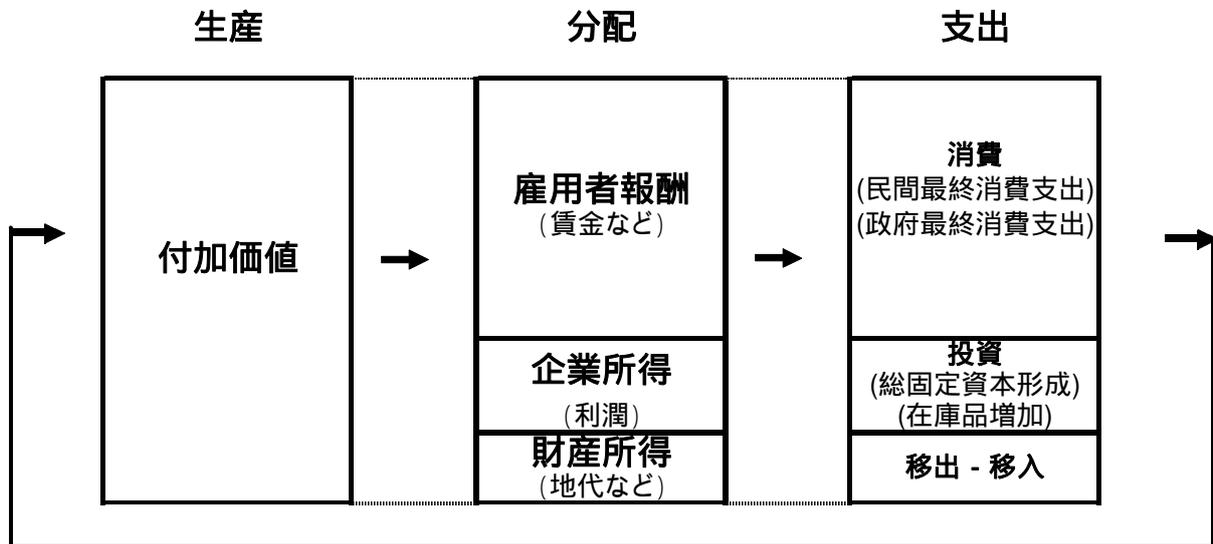
もっと知りたい「県民経済計算」part1 概要

「県民経済計算」という統計を紹介します。

ニュースをみているとGDP（国内総生産）や経済成長率といった言葉をよく耳にします。「沖縄県県民経済計算」では、沖縄県におけるGDPや経済成長率をはじめとした経済指標を公表しています。

経済は、絶えず循環を繰り返しています。財貨・サービスが生産され、その生産活動の結果生み出された付加価値（いわゆるGDP）が所得として分配されます。その所得をもとに消費者は消費や投資を行い、さらにそれらの支出にもとづいて、生産主体は再び新たな生産活動を行います。生産・分配・支出は概念的に同じ値になり、これを三面等価と呼びます。「県民経済計算」ではこのような経済循環の流れを捉えています。

「県民経済計算」は、当該年度の翌々年度に公表しています。「平成16年度沖縄県県民経済計算」は平成18年11月に公表しました。



平成16年度沖縄県県民経済計算の公表結果

	項目		単位	実数			増加率(%)	
				平成14年度	平成15年度	平成16年度	15	16
沖縄県	県内総生産	名目	億円	35,359	35,675	35,721	0.9	0.1
		実質	億円	36,433	37,057	37,456	1.7	1.1
	県民所得	名目	億円	27,177	27,051	26,998	0.5	0.2
		一人当たり県民所得	千円	2,034	2,012	1,995	1.1	0.8

(沖縄県統計課)

名目とは時価によって評価された金額で表示された値です。一方、実質とは、価格変動の影響を除去した価額により評価された値をいいます。

<次号は県内総生産についてご紹介します>

県民経済計算については沖縄県統計課のホームページでも公表しています

<http://www.pref.okinawa.jp/toukeika/>